

科目名	経済学概論Ⅰ(国際経済を含む)			担当教員	宮川 典之
単位	2単位	講義区分	講義	ナンバリング	ED2SSE204
期待される学修成果	教科教育 学校と社会				
アクティブ・ラーニングの要素	該当なし				
実務経験					
実務経験を生かした授業内容					
到達目標及びテーマ	現代経済学の基礎はミクロ経済学とマクロ経済学に大別されます。受講生は市場経済がどのように機能しているかについての基本的理解ができます。最終的には、ミクロの視点とマクロの視点を身につけることができ、実態経済を総合的に捉える眼を養うことが可能になります。				
授業の概要	現代社会について経済はどのように機能しているかについて、経済学の入門レベルから入ります。とくにミクロ経済学の視角を多種多様な経済主体の眼を通して考えます。典型的には与えられた予算制約の下で効用を最大化しようとする合理的な消費者の視点、および与えられた技術制約の下で利潤を最大化しようとする合理的な企業者の視点、および市場経済だけでは解決できない部分をどのようにあつかうのかについての合理的な政府の視点などを順次考察します。なお授業の導入部において、内外の経済に関する時事問題について、および話題を集めている書籍について紹介と解説をするように心がけます。 【デジタル技術利用 「該当なし」】				

授業計画	
第1回	オリエンテーション（経済学を学ぶ心構え）
第2回	生産と消費と資源
第3回	市場と資源配分
第4回	需要と供給の基本的理解
第5回	需要と価格
第6回	供給と価格 (財務省岐阜事務所協賛による特別授業への代替あり)
第7回	需要と供給との均衡 (財務省岐阜事務所協賛による特別授業への代替あり)
第8回	資源配分の決定
第9回	所得配分の決定
第10回	市場経済と政府
第11回	資源配分と政府
第12回	所得再配分と政府
第13回	マクロ経済学の基本的理解
第14回	ミクロ経済学とマクロ経済学との総合
第15回	まとめ

事前学修	2時間	講義予定の事項について教科書の該当する箇所事前に眼をとっておきましょう。
事後学修	2時間	授業で学習したポイントについて、章末の練習問題にトライするようにしましょう。
フィードバックの方法	質疑応答用紙に気になるところを記述してもらい、適宜回答します。 メールのやり取りを通して質疑応答も可能です。	

成績評価方法	割合(%)	評価基準等
定期試験	80%	経済学の基本理解
上記以外の試験・平常点評価	20%	小テストの実施
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
経済学への招待	岩田規久男	新生生	9784883841127	なし
参考資料				